

第4回 大宮駅西口交通結節点事業計画検討会 議事概要

■日時 令和7年3月21日(金) 10:00~12:00

■場所 TKP 大宮駅西口カンファレンスセンター 5階ホール5A

■出席者

| | | |
|------|---|----------------------------|
| 【座長】 | 一般財団法人 計量計画研究所 代表理事 | 岸井 隆幸 |
| 【委員】 | 埼玉大学 名誉教授 | 久保田 尚 |
| | 東京大学大学院工学系研究科 教授 | 羽藤 英二 |
| | 東日本旅客鉄道(株) グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 大規模プロジェクト推進ユニットリーダー | 片岡 賢司 |
| | 東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 企画総務部 経営戦略ユニットリーダー | 神保 成究 |
| | 一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事 | 関根 肇(WEB参加) |
| | 埼玉県警察本部 交通部長 | 内藤 淳一 (代理: 金田 敦之) |
| | 埼玉県 県土整備部長 | 吉澤 隆 (代理 WEB参加: 関根 一守) |
| | 埼玉県 都市整備部長 | 伊田 恒弘 (代理 WEB参加: 濱田 史郎) |
| | さいたま市 都市局長 | 佐藤 久弥 |
| | さいたま市 建設局長 | 高橋 良久 (代理: 西岡 康一) |
| | 国土交通省 関東地方整備局 道路部長 | 野坂 周子 |
| | 国土交通省 関東地方整備局 建政部長 | 市川 智秀 |
| | 国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所長 | 中洲 啓太 |

(※順不同、敬称略)

【事務局】さいたま市 都市局 都市計画部 交通政策課
国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 計画課

■議事

- 「大宮駅西口交通結節点と関係する諸計画」、「大宮駅西口交通結節点に求められる機能(案)」、「基本コンセプト(案)」について、事務局より説明され、大宮駅西口交通結節点の目指すべき方向性がまとめられた。引き続き具体的内容を議論し、調整していくことを確認。

<委員からの主な意見>

- 対流型首都圏における大宮の位置づけとして、大宮は東日本の流動を受け止める場所であることがこれまでの議論や今回の基本コンセプト（案）にて整理されている。東京を経由してアクセスしなければならない現状も踏まえると、道路・鉄道ネットワークを含めて対流型首都圏の1拠点として大宮は重要な位置づけにある。どのような企業が大宮に立地してくれるのかを含めて交通結節点事業を検討する必要がある。
- コンパクトに積層させたまちづくりが良いのか、新モビリティを含めて、ゆったりとした歩行者ネットワークを主軸とした、ゆとりのあるまちづくりが良いのか。資材の高騰も考慮しつつ、水平・垂直への展開可能なエリアの状況を含めて、今後検討する必要がある。
- 核都市広域幹線道路の整備によって交通結節点事業と広域幹線道路のつながりができると、首都圏の中で大宮駅は東京駅と並ぶ重要な拠点となる。物流も含めて首都圏の移動が大きく変わる。また、将来的には自動運転バスの導入などによって、拠点間の所要時間が劇的に変わるのではないか。
- 鉄道とバスとのスムーズな乗り換えが必要である一方で、地元としては素通りされている感じが出てしまう。急いでいる人はすぐに乗り換えられ、時間に余裕のある人はゆっくりと時間を過ごせるような場所を確保するなど、滞在型のまちづくりを交通結節点事業とセットで考えていただきたい。
- 核都市広域幹線道路、再開発事業、新幹線物流などは交通結節点事業にとって重要な要素だが、整備には時間を要する。今後のスケジュールを考えると、長期的なビジョンと当面のビジョンのステージングが必要ではないか。現状の課題をどのように改善していくのかといった視点が必要である。そういった意味では、グランドセントラルステーション化構想による東口の再開発がどのくらいのペースで進むのか、現在西口で行われている各種再開発はいつ頃できて課題は何かといったあたりも勉強する必要がある。
- さいたまスーパーアリーナをどう活用するかが重要である。大宮というまちが輝くための仕組みとして、他の地域と比較して優位なものは何かを考えるべきである。大宮とさいたま新都心をどのように結び、種地をどう使うか、時間軸を頭において検討を進める必要がある。
- 防災の観点では、さいたま市内外に点在する老朽化した公共施設等の機能の誘致・集約化も合わせて検討することで、首都直下地震等に対応可能なインフラ施設の検討も考えていただきたい。

以上